

2021年度 メリー★ポピンズ 赤羽ルーム 事業計画書

1 基本方針

どろんこ会の保育理念・方針に基づき、「にんげん力」を育てながら“子どもの最善の利益”を第一に保育を実践する。

「職員も子どもも生き生きと笑顔で過ごし、全職員が協力して子どもを中心に置いた保育を行う」

「笑顔と会話でコミュニケーションを高め、アットホームな園を目指す」
を園の目標とする。

- ① 子どもにとって必要な多くの実体験やハプニングを経験し、その実体験から多くの表現活動を行い、心も体も逞しい子を育てる。
- ② 異年齢保育・座禅・雑巾がけ・さくらさくらんぼリズム体操・散歩9時出発・生き物の世話・畑仕事・裸足保育・商店街ツアー・青空保育を実施する。
- ③ 地域交流（商店街ツアー・近隣保育園、老人施設との交流など）を実施し、地域全体で子どもを育てる環境を作り、地域に開かれた保育園として、子育て支援の充実を図る。
- ④ 常に子どもにとって最良かを考え、子どもを中心に置き、子ども主体の活動を行う。
- ⑤ 畑やプランターを利用し、食への関心・興味を育て、「食べたい時に食べたい場所で食べたいものを食べたい人と食べたいだけ」食べる食育を行う。
- ⑥ 給食は個々の発達に合わせ、噛む力を育て、素材の味が味わえる状態で提供する。また、調理員・保育士・施設長は子どもと一緒に楽しく食べる。
- ⑦ 生き物を通じて生と死を学んだり、どろんこ園のヤギや鶏にエサをあげたり、触れ合う。
- ⑧ 保育室内は常に整理整頓を心がけ、保護者や見学者がいつ来ても気持ちの良い環境作りをし、維持する。
- ⑨ コンピテンシーのNO1「プロになる」、NO2「保護者の立場に立つ」について、前年度と比較して保育士としてのレベルアップを図るように園研修を行う。

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

保育士、調理員はそれぞれ目標を立て、専門的な知識と技術を身に付け、自身の質向上に努める。子どもにとって最良の活動を考え、計画・実施する。

毎月の園内研修はコンピテンシーのNO1、NO2を踏まえて行う。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

それぞれの家庭で子育ての考え方の違いがあることを知り、保護者とのコミュニケーションをとりながら、各家庭の子育てに寄り添い援助していく。子どもの発達を共有し、保護者の悩みや疑問などをできるだけ取り除いて幼児に送り出せるようにする。

〈3〉 地域の子育て支援事業

地域の実情を踏まえ、子育てをしている保護者に対して、保育の専門性を生かした子育て支援を積極的に行う。コロナウイルスの対策を行ったうえで、園で行う子育てサロンが家庭に帰ってからも楽しめるものを計画し、充実したひとときとなるように行う。また、保育園が気軽に遊びに来られる場所になるように、出来るだけ園の様子を地域へ発信していく。

〈4〉 次世代を担う職員育成 注)

積極的な研修の参加、法人理念のもと、職員一人ひとりの保育観、人間性並びに保育士としての職務及び責任の理解と自覚を身に付ける。

それぞれコミュニケーション能力を身に付け、1つのチームとして子ども達の保育を協力して行っていく。

〈5〉 プロとしての職員のスキルアップ

保育の計画と実行

子どもが毎日、生き生きと楽しんで一日を過ごせるように、保育計画を立て、実践する。

体験させたい経験を1つでも多く実体験させる。

行事は準備段階から子どもと楽しんで行い、当日を迎える。

〈6〉 プロとしての職員のスキルアップ

社会人としての質向上

忙しさや大変さを表情や口調に出さず、いつでも笑顔で心がける。

お願いします、ありがとうございます、など仕事中の言葉使いに注意し、正しい日本語を身に付ける。

子ども全体を見て自分が今、何をすれば良いのかを判断して、自ら行動し、提案する。

〈7〉 プロとしての職員のスキルアップ

保育士としての質向上

子どもの命を預かる重みを自覚し、守らなければいけないことを遵守し、常に平常心で子どもと接する。後輩には自分の知識を教え、育てる気持ちを持ち、一人ひとりがリーダーになるという気持ちで責任を持って保育を行う。

2 児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6人	10人	11人	0人	0人	0人	27人

3 保育園開所時間

7時00分～20時00分

4 職員配置

常勤職員	8人	保育士	5人	看護師	0人	栄養士	0人	調理員等	1人
パート職員	2人	保育士	2人	補助	0人	事務	0人	調理	0人
		用務	0人						
嘱託職員	0人	嘱託医	1人	言語聴覚士	0人	臨床心理士	0人		

5 運営方針

〈1〉 運営管理を円滑に行うために以下の施設内会議を勤務時間内にて開催します

施設内会議名	頻度	主な内容
園会議	月1回120分	<ul style="list-style-type: none">・保育の振り返り・次月目標設定・ディスカッション・園内研修・コンピテンシー・保育に関する意見交換・園長会議連絡事項伝達・子どもの様子
給食運営会議	月1回	<ul style="list-style-type: none">・調理、食事提供の改善策・ディスカッション・クッキングの企画、打ち合わせ・食育計画、献立の見直し
ケース会議	月1回	<ul style="list-style-type: none">・個別配慮を要する子どもの共有・自園での危機管理確認など
昼礼会議	毎日	<ul style="list-style-type: none">・午前の振り返り、午後の活動内容の確認・明日の活動内容の確認・子どもの様子、怪我報告ほか
事故防止委員会	月1回	<ul style="list-style-type: none">・ヒヤリハット、インシデント、事故記録簿の検証ほか
クラス会議	適宜	指導計画の適正、子どもの発達、援助についてほか
各係、担当会議	適宜	企画、業務の見直し、改善ほか

-2以下の法人が定める施設外会議に勤務時間内にて出席します

施設外会議名	頻度	主な内容
施設長会議	月1回	コンピテンシー自己評価、議題協議、グループ全体の伝達事項の周知ほか
施設長勉強会	月1回	保育園の課題を検討しながら、法人・会社全体のスキルアップを図るほか
食育会議	年4回	アレルギー児の対応、各学年の食育計画、食育行事についての確認、給食業務改善ほか
保健会議	年4回	園児健康管理業務改善ほか

〈2〉 各種係を設置し職員全員が参加して運営します

係名	職務内容・役割
衛生管理係	嘱託医へ健診の依頼連絡、当日の手伝い、検体取りまとめ投函、書類のチェック・ファイリング、エピペン研修の準備ほか
安全対策係	毎月の避難訓練計画、消防署へFAX、保護者宛お知らせ、玩具破損チェック、室内外の危険箇所チェック、室内外のハザードマップ作成・見直し・変更、自主点検表準備・実施、事故防止委員会議事進行ほか
防火管理者	施設の火元の管理、消防計画の作成と届出、防火・消火についての毎月1回の職員訓練を行う
食品衛生責任者	保育園の給食、食育に関する取り組み、給食食材および提供食材の衛生管理と在庫状況の管理ほか
畑係	年間農業計画の遂行状況の確認や整備、畑の管理
生き物係	飼育全般に対する管理
備品係	備品の整理および管理、発注の取りまとめ

〈3〉 対外的に以下の係を設置します

係名	職務内容・役割
運動会係	計画、準備の状況確認、作業の振り分け、当日の進行、アンケートの取りまとめ、来年度の体育館使用の申し込みほか
生活発表係	計画、準備の状況確認、作業の振り分け、当日の進行、アンケートの取りまとめほか
子育てサロン係	地域の方へお知らせの発信、年間予定に基づいた企画、準備、当日の進行、相談の受け答え、書類記入

6 保育方針

〈1〉 基本方針

乳児保育	上半期	● 一人ひとりの生理的欲求や甘えなどを満たし、情緒の安定や生命
------	-----	---------------------------------

	0～2歳児	の保持を促す。 ● 保育者との信頼関係の中で、安心して保育園生活を送る。保育者に見守られ、遊びを十分に楽しめる環境の下、人間関係を築き様々な経験をする。
	下半期 0～2歳児	● 保育者と一緒に生き物や草花などの自然物や様々な素材に触れ、興味を持ち、積極的に関わっていく。 ● 自分でやってみたいという気持ちを受け止めてもらい、保育者に見守られながら挑戦し、自分で出来る喜びを知る。
保育参加	4～3月	● 希望する保護者が参加／保育参加アンケートにご記入いただく
保護者面談 発達相談	随時	● 随時、希望する保護者に対し実施 ● 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望 への対応	随時	● 連絡帳・口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い、「苦情受付簿」の活用
運営委員会	年2回	● 6月〇日と11月〇日に実施予定

〈2〉 年間行事計画

- 2021年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2021年度年間スケジュール」に掲載
- 保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉 給食・食育運営方針

- 食べる意欲を育てる。
- 保育者や友だちと一緒に食事を楽しく美味しく食べながら、食具の使い方、食事のマナーを身に付けていく。
- 畑・プランターの活動、食育体験を通して、食材や食の環境への興味関心を持つ。
- 一人ひとりの成長に合わせた離乳を保護者と連携をとりながら丁寧に進め、噛む力を身に付け素材の味を味わう。
- 自ら進んで食事の準備・片付けをする。

〈4〉 保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
保健だより	月1回（25日）発行
職員健康診断	年1回
職員検便	全職員月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	歯磨き指導、手洗いうがい指導
流行が予測される感染症	通年…新型コロナウイルス 感染予防のためうがい・手洗い指導を行う。3密を作らないよう可能な限り配慮する。 11月頃～4月頃…インフルエンザ

	12月頃～…胃腸炎
発作・痙攣等の対応のための薬の預り	ダイアップ…2名より預かり済み／冷蔵庫にて保管
エピペン使用できる職員	本日現在10名が、2月6日に研修受講し、習得済み。 未受講者は5月までに研修を行う。
その他保健に関する取組	玩具の消毒 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

〈5〉 各種点検

危機管理	設備点検チェック	年6回／5・7・9・11・1・3月の25日
	事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検（備蓄品点検含む）	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年1回
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全職員
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断 ※認可園のみ歯科検診年1回	年2回／6・11月の30日頃（東京都0歳児のみ年12回実施）
運営管理	児童保護者の人権に関するチェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉 環境整備

- ・日々、早遅番による園内点検を行う。
- ・週1回、全職員が自分の担当する室内の環境整備を行い、子ども達が安全に生活できるように確認する。特に棚の上の整理整頓、清掃の他、子ども達がいつでも気持ちよく生活できるようにしているか、自らが生活することを考えながら清潔な環境を整える。
- ・玩具は発達状態に合わせたものを準備し、いつでも好きな遊び、好きな玩具がいつでも使える状態にしておく。
- ・リズム遊びや運動遊びの時は、のびのびと体を動かせる広さの部屋を確保し、安全で自ら体を動かそうとする意欲が育つようにする。
- ・近隣の公園や土手、それ以外の公園でも安全面、衛生面（ゴミやタバコの吸い殻の始末）など、

特に注意すると共に、散歩時も常に環境面に留意する。

7 危機管理(防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ)

- ① 全体を通して法人のマニュアルに従って行動する。過去の事例や予測される事故は職員全員周知の上、事故に発展することがないように注意喚起する。しかし、必要以上に危険回避をすることは、子どもの「乗り越える力」「生きる力」を損なうことにもなりかねないので、職員全員の総意のもと意識の統一を図る。
- ② 安全管理係を中心に日頃より防犯に対する意識を高める。災害は突然に起こるものなので、日頃からシミュレーションを行い、避難訓練・不審者侵入訓練を有効に活用する。
- ③ 事故・怪我においては、心身共に苦痛を負った子どもと保護者の気持ちに誠意をもって応えることが重要である。どんな小さな怪我でも保護者に伝え忘れが無いようにする。また、前日のどんな小さな怪我（発熱も含む）も登降園の伝達ノートに記入することにより、翌日の担当保育者が保護者及び子どもに声を掛け、状況を把握するようにする。
- ④ 防犯に対する訓練は、1年に2回行っているとはいえ、日々の生活の中で常に意識することが重要である。散歩時における対応や園内における対応の仕方などを会議で話し合い、対応の仕方を共有する。
- ⑤ 光化学スモッグについては、区役所の情報を素早く園内及び園外にいる職員に周知する。特に園外にいる職員に対しては「素早く日陰に行く」「保育園に戻る」などの対応を考えるよう、日頃から注意する。また、園内に居る場合にも、窓を閉めるなど子ども達の健康状態に留意する。

8 実習生・中高生の受入

次世代育成の観点から、実習生を積極的に受け入れ、ひとり一人の様子に合わせて具体的かつ家庭的に援助・指導を行う。近隣の中学校や依頼のあった高校生の体験学習を積極的に受け入れる。

9 職員育成と研修計画

新人研修

- 入社時オリエンテーション
- 現場OJT研修
- 保育品質マニュアル研修
(事務研修・ケガケーススタディ研修含む)
- コンピテンシー研修

保育スキル研修



←お迎え
対応研修

新人社員研修

- 新人社員研修
 - 会場研修
 - 系列園保育実地研修



←避難訓練研修

スタッフ研修

- 全社員研修 (年1回)
- 園内研修 (月1回以上)
- 保育スキル研修 (エリア別)
- リーダー養成研修 (9~2月)
- 業務改善研修 (月1回)
(=保育の質を上げる会議)
- 施設長勉強会 (月1回)
- デンマークインターンシップ (年1回)
- コンピテンシー自己採点 (月1回)
- 人権チェック (4月・10月)
- 外部研修
- 上級救命救急資格取得講習

① 2021年度園内研修計画(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月	19:00~20:00	① コンピテンシーN01自己採点 ② 保育士として必要なこと	・コンピテンシーN01「プロになる」のチェックを行い、自分の強み・弱みを知る。 ・保育者としてどんなことを身に付けたら良いか…グループディスカッションし、発表する。 ・なぜ保育士を仕事に選んだかを発表 (1名)
5月	19:00~20:00	① コンピテンシーN02自己採点 ② チームワーク	・コンピテンシーN02「保護者の立場に立つ」のチェックを行い、自分の強み・弱みを知る。 ・赤羽チームを団結させるためには…グループディスカッションし、発表する。 ・なぜ保育士を仕事に選んだかを発表 (1名) ・エビペン研修
6月	19:00~20:00	① コンピテンシーN01自己採点 ② コミュニケーション	・「指示を出さない保育」「ダメを言わない保育」とは…グループディスカッションし、発表する。 ・コミュニケーションを高めるためには…グループディスカッションし、発表する。 ・なぜ保育士を仕事に選んだかを発表 (1名)
7月	19:00~20:00	① コンピテンシーN02自己採点 ② 自園の入園希望者対応	問い合わせの電話対応 ロールプレイング 突然の見学希望者の対応 ロールプレイング ・なぜ保育士を仕事に選んだかを発表 (1名)
8月	19:00~20:00	① コンピテンシーN01自己採点 ② 自園の見学説明	・見学者にパンフレットに沿って説明 ロールプレイング (p1~p5) ・なぜ保育士を仕事に選んだかを発表 (1名)
9月	19:00~20:00	① コンピテンシーN02自己採点	・見学者にパンフレットに沿って説明 ロールプレイング (p6~p10)

		② 自園の見学説明	・なぜ保育士を仕事に選んだかを発表（1名）
10月	19:00～20:00	① コンピテンシーN01自己採点 ② 半年間の振り返り	・半年間でできるようになったこと（各自発表） ・後半に向けてどんなことに力をいれるか ・なぜ保育士を仕事に選んだかを発表（1名）
11月	19:00～20:00	① コンピテンシーN02自己採点 ② 環境整備について	・保護者の立場に立つとは ・誰が見ても気持ちいいと感じる清掃と整理整頓 ・エビベン研修
12月	19:00～20:00	① コンピテンシーN01自己採点 ② エピソード研修	日頃の保育の中で子どもが成長したなど感じたことを発表
1月	19:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② ポートフォリオ	ポートフォリオ発表
2月	19:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② ポートフォリオ	ポートフォリオ発表
3月	19:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 総括	今年度の反省と来年度に向けて

② 2021年度子育てスキル研修計画(次年度、スキル講座内容)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	会場	総予算	按分予算
4/27 (火)	19:00～21:00	社会人としての基本マナー・接遇	渋谷本社	0円	0円
5/25 (火)	19:00～21:00	DIYの遊具の実践的活用と安全点検	中目黒どろんこ保育園	0円	0円
6/8 (火)	19:00～21:00	子どもの力を引き出す保育の境界線 ～あなたは信じて待っていますか？～	前原どろんこ保育園	0円	0円
7/27 (火)	19:00～21:00	親子関係の発達と食行動の発達 食を通して形づくられる愛着関係とは	東寺尾どろんこ保育園	0円	0円
8/24 (火)	19:00～21:00	自我の発達と食行動の発達 楽しく食べる食育で「心」「自己肯定感」「生きる力を育てる」	東寺尾どろんこ保育園	0円	0円
9/28 (火)	19:00～21:00	保育園で大切なマネジメントとは？ ～キャリアアップ研修から～	鶴見どろんこ保育園 新羽どろんこ保育園	0円	0円
10/26(火)	19:00～21:00	食育の奥深さ「食」には一つ一つに意味がある	郡山どろんこ保育園 駒沢どろんこ保育園	0円	0円
11/25(火)	19:00～21:00	さくらさくらんぼリズム	子ども発達支援センター 一つむぎ浦和美園	0円	0円
12/14(火)	19:00～21:00	園庭の無い保育園での火・水・土の挑戦	駒沢どろんこ保育園	0円	0円
1/13(木)	19:00～21:00	併設園での挑戦	一つむぎ新羽ルーム 一つむぎ八山田ルーム	0円	0円

③ 外部研修への出席

2～3月実施の「外部研修受講アンケート」に基づき、施設長および運営部が推薦する。

④ 法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（保育の質会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
全社員研修	2021年度内に新型コロナウイルスの感染予防策を検討して開催予定。正職員およびパート・アルバイトを含めた10名の職員が出席予定											
リーダー養成研修	選ばれた職員が参加予定											
デンマークインターンシップ	希望する職員が応募											

⑤ 職員個人別育成計画

施設長が年2回（5月16～24日と11月1日～12月9日）実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次半期の目標設定と併せて、次半期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。

10 地域交流計画

法人理念における保育方針の「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」にある通り、戸外に出掛け近隣の方や身近な人と様々な関わりを経験し、子ども一人ひとりが地域に愛される存在になるよう計画し実践する。

具体的な地域交流計画

前提として、コロナウイルスに注意し、密にならないように行う

青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：赤羽三丁目公園にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	・子どもの様子に合わせ、高齢者福祉施設や近隣住民との交流を企画し、日々の保育活動の中で積極的に交流を行う。 。 ・小中学生の職場体験や幅広い年齢層のボランティアの受け入れを行う。
異年齢交流	・0～2歳児は子どもの様子に応じて異年齢で過ごせる機会を設け、様々な人との関わりが充実するよう配慮する。
地域拠点活動	・地域の親子に向けて、子育て支援として「子育てサロン

」の開催、子育ての相談を行う。

11 小学校との連携の計画

該当なし

12 要支援児計画

【個別支援計画の作成・見直し】

- ・個別配慮を要する子どもの支援は、個別計画を立て保護者と共有しながら子どもの様子を見るようにする。
- ・集団生活に馴染めない、その子にとっての計画であるが、他の子ども達も含めての育ち合いの視点を考える。その子が社会で生きていくために保育園で丁寧に関わることにより少しでも安心して生活ができるよう援助する。
- ・発達の偏りというべきその子の能力の低い部分だけに焦点をあてて矯正するのではなく、能力の高い部分を引き出すように援助し、足りないものを補おうとする努力ではなく、伸びる部分を延ばすことにより、その他の部分の力に変えていく援助を考える。

【毎月のケース会議開催】4～3月に計12回開催予定 参加者：11名予定

- ・園児全員の現在の発達経過報告、特に注意し、援助が必要な子どもの現在の状況と今後の対応について話し合い、援助の仕方の共有を行う。

13 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい月間延来場者数を自治体に報告する。
コロナウイルスに注意し、その都度の状況で判断する。

園開放	(月)～(土) 9:30～16:30
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30
自然食堂…親子ランチ交流	毎週(水) 10:00～12:00
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	毎週(金) 10:00～12:00
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育(支援センター主催)	月1回 公園名：赤羽三丁目公園にて開催

14 福祉サービス第三者評価の受審

3年に1度受診し、結果はHPにて公開

2018年度、受審済

2021年度、受審予定

15 園による自己評価の実施

2021年4月28日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：9時00分

自己評価終了予定時刻：11時00分

自己評価実施予定者：高橋 みどり

16 メリー★ポピンズ 赤羽ルーム3か年計画の具体化

1年目

- ・9時散歩出発、おやつ後出発を当たり前にし、戸外活動で1つでも多くの実体験ができるような活動内容を計画する。
- ・子ども全員の発達・健康状態を把握、共有し、去年に引き続き保育者全員が子どもの発達のために全力を尽くす。

2年目

- ・子育ての質を上げる会議、主任・ミドルリーダー会議で学んだことを、自園で活かせる取り組みを行う。
- ・戸外活動での多くの経験を活かし、表現活動を行う。

3年目

- ・自園での取り組みや活動を地域へ発信し、園をより理解してもらう。
- ・保育者の「プロ」として常に向上心を持ち、現状に満足することなく学ぶ気持ちを持ち続ける。

以上

作成日：2021年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 赤羽ルーム 施設長 高橋 みどり